



吉子川



令和7年4月9日(水)
学校だより NO. 2
中島村立吉子川小学校
発行責任者 校長 木戸美智子

【めざす児童像】

- あかるく たくましい子ども (体)
- やさしく おもいやりのある子ども (徳)
- めあてをもって がんばる子ども (知)

【よしコッピ】

吉子川小学校
のあやめの花に
住む小鳥の妖精

今月のいきいき中島っ子 学びの
十か条 (4月)

きまり、ルールは守って当たり前
落ち着いた環境で高まる集中力

◇ 第1学期始業式 ～ 校長講話より ～ ◇

4月7日(月)第1学期始業式を行いました。始めに転入生を紹介しました。4年生に転入したのは、郡山市立御館小学校から来た「多田 結衣(ただ ゆい)さん」です。全校生の前に立っても、しっかり自己紹介することができた結衣さん。礼儀正しく、頼もしいと感じました。8日には、友達と笑顔で下校する姿、校長に下校の挨拶をする姿もみられました。うれしく思います。

始業式での校長講話は、次のとおりです。

吉子川小学校は、昨年度創立150周年という大きな「節目」を迎えました。「節目」という言葉は、「区切りとなる大切なところ」という意味で使われます。例えば、竹の「節」です。竹は丸い筒の形をしていて中は空っぽです。空っぽで外側しかないので20mという高さまで成長しても倒れない強さがあります。大雨や大雪、台風が来ても簡単には折れません。しなやかで粘り強く、少しぐらいのことでは、へこたれない頑丈さがあります。それは、この「節」があるからで、「節目」は強さの秘訣なのです。

昨年度は、学校にとっての「節目」でした。素晴らしい「節目」を全校生、お家の皆さん、地域の皆さん、先生方で創りましたね。今年度は、その「節目」を基に、新しい吉子川小学校を創るスタートの年になります。**強くたくましい学校**にしたいですね。

そこで、今年度、みんなで大事にしたいことが、3つあります。それは、「進んで声を出す」「進んで本を読む」「進んで自分を伸ばす」です。この3つができると、「あかるくたくましい子ども」「やさしくおもいやりのある子ども」「めあてをもってがんばる子ども」という「あやめ」の目標が達成されるはず。具体的にどのように頑張ればよいのか、担任の先生とよく考え、1年かけてできるようにしましょう。

◇ 第1回登校班会 ～ 4月8日(火)2校時 ～ ◇



新体制での集団登校初日。朝の登校について反省する会を開きました。命を守るための会です。全員本気になって考えていました。

○集合時刻までに、集合場所に集まること

○欠席や遅刻等の連絡は、班長さんが自分の家を出る前に連絡すること

○班長さんが先頭になり、1列に並んで登校すること

この3点をしっかりと守り、**強くたくましい子ども**になってほしいと思います。ご協力をお願いします！

歩いて登校なぜ大切？

- ①体力向上と心拍数増加で脳への血流アップ！
学校に着く頃には、体も脳もウォーミングアップ完了！
- ②忍耐力向上と自然への尊敬！
暑さ、寒さ、雨風に耐えるといった日々のちょっとした我慢の連続が心を鍛えます！
- ③コミュニケーションの大切さ！
友達と一緒に、社会性を磨く！



五感を働かせないと
脳は発達しません！

幸せホルモン「セロトニン」も
増えます！